

帝京ロンドン学園高等部

二〇二〇年度 入学試験問題

国語

## 第一問 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

古語辞典が一冊あれば、僕のような素人でも、現代語訳ができてしまう。こういう言語環境は、他にあるでしょうか。東アジアの国の中で、特殊な専門教育を受けたわけでもない一般人が古典に辞典一冊でアクセスできる言語環境があるのはおそらく日本だけです。

そのことを最初に教えてもらったのは、ベトナムの青年と友だちになった時でした。フランスのブザンソンという地方都市の大学へ学生たちの語学研修の付き添いで滞在しているときに友だちになった青年からベトナムの特殊な言語事情を聞きました。

ベトナムは、漢字とベトナム語の<sup>注1</sup>万葉仮名的な表記法である<sup>注2</sup>チュノムの<sup>注3</sup>ハイブリッド言語でした。でも、近代になってからアルファベット表記の「クオック・グー(國語)」に表記法を変えてしまった。その結果、欧米の言語と同じ表記になったわけですから、便利にはなった。でも、漢字・チュノム混じりで書かれた<sup>注4</sup>テキストを読むことができなくなった。古典どころか、①祖父母が書いた日記も手紙も読めない。寺院の<sup>注5</sup>扁額も読めない。利便性の代償として、ベトナム人は、二世代前の人たちが書いたテキストを、特殊な専門教育を受けた者以外は読めなくなってしまった。近代化の代償として自国文化の<sup>注6</sup>アーカイブへのアクセス権を失ったわけです。果たして、それは<sup>注7</sup>間尺に合う取引だったのでしょうか。友人のベトナム人青年は懐疑的でした。

韓国も事情は似ています。一九七〇年代に漢字廃止政策が採択されました。一つには日本の植民地時代に日本語使用を強制されたことに対する反発があり、一つには漢字は習得が難しいので、漢字の読み書きができる階層とできない階層の間で文化的格差が生じるリスクがあるということで、<sup>注8</sup>ハングルに一元化された。ハングルへの一元化によってたしかに教育の平準化は進みました。でも、ベトナムと同じように、先行世代と使用言語が違うという事態が生じた。一世代前の人が書いたものが読めない。今の韓国の若者たちは、漢字は自分の名前くらいしか書けません。(中略)

日本でも「韓国の英語教育はすごい」ということはよく言われます。実際にすごいです。大学の授業は教師も学生も韓国人なのに英語でやっている。国内学会も、出席者全員韓国人なのに、英語でやる。でも、たしかにそれには必然性がある。表意文字である漢字を捨てて、表音文字であるハングルしかない。日本で言えば、ひらがなだけで暮らしているようなものです。学術論文を全部ひらがなで書くという手間を考えたら、外来の<sup>注9</sup>テクニカルタームなどはそのまま<sup>注10</sup>原綴りで表記した方が圧倒的に効率的に決まっている。だから、漢字が使えない以上、英語への切り替えは必然的でした。

でも、母語では学問的な文章を書くことができないというのは、やはり大きな<sup>注11</sup>ハンデになります。自然科学なら英語でそこそこいけるかも知れませんが、英語でやったのでは、韓国オリジナルな社会科学や人文科学は出てこない。出てくるはずがありません。というのは、文系の学問は母語のアーカイブの中で熟成するものだからです。



(内田樹の文章によるが、設問の都合で一部改変している)

注

- 1 万葉仮名……日本語を表記するために表音文字として用いた漢字。
- 2 チュノム……ベトナムの民族文字。一三世紀に漢字にならって作られた。
- 3 ハイブリッド……異なった要素が混ざり合っていること。
- 4 テクスト……文より上のレベルの言語的構成体。テキスト。
- 5 扁額……門戸や室内に掲げる横に長い額。
- 6 アーカイブ……大規模な記録や資料のコレクション。
- 7 間尺に合う……割に合う。損にならない。
- 8 ハングル……朝鮮語の表記に用いられる音節文字。
- 9 テクニカルターム……専門用語。術語。
- 10 原綴り……本来の、単語を構成する文字の配列。本来のスペリング。
- 11 ハンデ……不利な条件。それによって生じる不利益。ハンディキャップ。
- 12 グローバリスト……世界的な規模で活躍する人。国際人。
- 13 イノベーション……経済成長の原動力となる革新。
- 14 野沢温泉……長野県北東端、野沢温泉村にある温泉。
- 15 語義……言葉の意味。語意。
- 16 インパクト……強い影響や印象。
- 17 輪郭……物事の概要。大筋。アウトライン。
- 18 喉元……のどの胸に近いあたり。のどのあたり。

問一

傍線部①「祖父母が書いた日記も手紙も読めない」とあるが、これはなぜか。本文中の語句を用いて六〇字以上八〇字以内で説明しなさい。

問二

傍線部②「古文や漢文などは一体なんの意味があるんだ、そんなものになんの有用性もないというようなことを言う人たちがいる」とあるが、筆者は本文の中で、古文や漢文を学ぶ理由をどのように述べているか。本文中の語句を用いて四〇字以上五〇字以内で答えなさい。

問三

前後の文章をふまえて、空欄【 A 】にあてはまる「語義」の説明として適切な表現を答えなさい。

## 第二問 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

つい最近、<sup>注1</sup>PISAの読解力テストの点数がAゲキテキに下がったという報道がありました。記事によると、近頃の子どもたちはスマホなどBカンベンなコミュニケーションツールを愛用しているので、難解な文章を読む訓練がされていない、それが①読解力低下の原因であろうと書かれていました。たしかに、それはその通りだろうと思います。しかし、だからと言って「どうやって読解力を育成するか?」というような実利的な問題の立て方をするのは、あまりよろしくないのではないかと気がします。

というのは、読解力というのは目の前にある文章に<sup>注2</sup>一意的な解釈を下すことを自制する、解釈を手控えて、一時的に「宙吊りにできる」能力のことではないかと僕には思えるからです。

難解な文章を前にしている時、それが「難解である」と感じるのは、要するに、それがこちらの知的スケールを越えているからです。それなら、それを理解するためには自分を閉じ込めている知的な枠組みを壊さないといけない。これまでの枠組みをいったん捨てて、もっと汎用性の高い、包容力のある枠組みを採用しなければならぬ。

読解力が高まるとはそういうことです。大人の<sup>注3</sup>叡智に満ちた言葉は、子どもには理解できません。経験も知恵も足りないから、理解できるはずがないんです。ということは、子どもが読解力を高めるには「成熟する」ということ以外にない。ショートカットはない。

僕はニュースを見ていて、読解力が下がっているというのは、要するに日本人が幼児化したのだと感じました。「読解力を上げるためにはこれがいい!」というようなこと言い出した<sup>注4</sup>シユンカンに、他ならぬそのような発想そのものが日本人の知的成熟を深く損なうことになる。なぜ、そのことに気がつかないのか。

以前、ある精神科医の先生から「治療家として一番必要なことは、軽々しく診断を下さないことだ」という話を伺ったことがあります。それを、その先生は「中腰を保つ」と表現していました。この「中腰」です。立たず、座らず、「中腰」のままです。急いでシンプルな解を求めない。これはもちろんきついです。でも、それにある程度の時間耐えないと、<sup>注5</sup>テキセツな診断は下せない。テキセツな診断力を持った医療人になれない。

(中略)

読解力というのは量的なものではありません。僕が考える読解力というのは、自分の知的な枠組みを、自分自身で壊して乗り越えていくという、ごくごく個人的で<sup>注6</sup>Eコドクな営みであって、他人と比較したり、物差しをあてがって数値的に査定するようなものではない。読解力とは、いわば生きる力そのものことですから。

現実で直面するさまざまな事象について、それがどういう<sup>注7</sup>コンテクストの中で生起しているのか、どういうパターンを描いているのか、どういう法則性に則っているのか、それを見出す力は、生きる知恵そのものです。何が悲しくて、生きる知恵を数値的に査定したり、

他人と比較しなくてはならないのか。そういう、比較できないし比較すべきではないものを数値的に査定するためには、「読解力とはこういうテストで数値的に<sup>注5</sup>考量できる」というシンプルな定義を無理やり押し付けられない。けれども、ある種のドリルやテストを課せば読解力が向上するという発想そのものが子どもたちの「世界を読み解く力」を損なっている。

(内田樹の文章によるが、設問の都合で一部改変している)

注 1 PISA……世界各国の一五歳の子供を対象にOECDが実施する試験。

- 2 一意的……意味が値が一つに確定しているさま。
- 3 叡智……すぐれた知恵。深い知性。
- 4 コンテキスト……文章などの前後の関係。文脈。コンテキスト。
- 5 考量……あれこれ考え合わせて判断すること。

問一 傍線部A「ゲキテキ」 B「カンベン」 C「シュンカン」 D「テキセツ」 E「コ  
ドク」のカタカナをそれぞれ漢字に改めなさい。

問二 傍線部①「読解力低下の原因」について次の問いに答えなさい。

- (1) 筆者は、「読解力低下の原因」をどのように考えているか。本文中の語句を用いて六〇字以上八〇字以内で説明しなさい。

- (2) あなたは今後、どのように「読解力」を向上させていきたいと考えるか。できる限り具体的に「わかりやすく」八〇字以上一〇〇字以内で答えなさい。

以上